

みんながみんなの子どもを育てる社会をめざして
“稲敷市初” の子ども第三の居場所
「みんなのひみつきち」 オープン!

社会福祉法人 蒼天（茨城県稲敷市、理事長 根本 敏宏）は、5月1日（木）に、家でも学校でもない子どもの新しい居場所である、子ども第三の居場所「みんなのひみつきち」を開所いたします。開所に伴い、4月20日（日）に事業説明会・内覧会を実施いたしました。なお、子ども第三の居場所「みんなのひみつきち」は、日本財団「子ども第三の居場所」事業において茨城県稲敷市として初の拠点となります。



集合写真



テープカットの様子

子ども第三の居場所「みんなのひみつきち」は、放課後の居場所として、食事、学習習慣、生活習慣の定着、体験機会を提供していきます。「人々がすれ違って、互いの異なりを知る。異なりを知ることは、ちいさな関心を生む。そのちいさな関心は、大きな学びの意欲に育っていく。」その中で、これまで交わることのなかった「福祉」と「地域」をつなぎ、すべての人が交流できる場（空間）を提供することで、地域のみなさまが交流し、連携できるささえあいのネットワークを構築したいと考えています。

なお、本拠点の運営団体である社会福祉法人 蒼天は、“全ての人々への福祉”を理念に掲げ、子どもからお年寄りまで、必要な人に支援を提供するための福祉サービスをつくり提供することで、地域のみんなが安心して暮らせる環境を整えるために活動しています。

式典では、理事長の根本が「これまでのように、目の前の困った人に対してのサポートを考え、地域の人を含めてみんなで協力して解決していくことを主軸において活動していきます。」と挨拶をし、稲敷市市長の筧 信太郎様をはじめ日頃からご支援いただいている関係者の皆様から祝辞を賜りました。子どもたちがテープカットに参加するなど、子ども中心の温かい雰囲気となりました。

今後は、常勤職員1名、非常勤4名、ボランティア数名で運営し、平日の月～金曜日の5日間、祝日も開所します。

■施設概要

施設名 : みんなのひみつきち
所在地 : 茨城県稲敷市曲淵3-1 みんなの学校いなしき
対象 : 定員20名 小学1年～中学3年
開所日時 : 週5日（祝日開所）
スタッフ : 常勤職員1名、非常勤4名、ボランティア数名
※常勤・非常勤職員に精神保健福祉士が所属
HP : <https://so-ten.org/index.html>

■運営主体：社会福祉法人 蒼天

"全ての人々への福祉" を経営の中心に据え、"生涯にわたる支援" と"制度のギャップを埋める取り組み" を主要な事業領域として、地域の皆様との協力と参加を重視し、共に地域社会に密着した福祉の実現を目指します。

<https://so-ten.org/corporation/index.html>



■「子ども第三の居場所」とは

「子ども第三の居場所」はすべての子どもたちが将来の自立に向けて生き抜く力を育むことを目的として、日本財団が中心となって2016年より全国に開設しています。

「子ども第三の居場所」では、特にひとり親世帯や親の共働きによる孤立や孤食、発達特性による学習や生活上の困難、経済的理由による機会の喪失など、各々のおかれている状況により困難に直面している子どもたちを対象に放課後の居場所を提供し、食事、学習習慣・生活習慣の定着、体験機会を提供しています。現在全国に248ヶ所設置されています。（2025年2月末時点）

<https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/child-third-place>



子ども第三の居場所
ロゴ

【本件に関するお問い合わせ】

社会福祉法人 蒼天

担当：上林 TEL：0299-77-5260 MAIL：kodomo@so-ten.org

【全国の「子ども第三の居場所」事業に関するお問い合わせ】

「子ども第三の居場所」PR事務局（株）オズマピーアール 担当：野田・木村

Tel：070-4540-7065(野田)、080-5471-6062(木村) Mail：kodomo3_pr@prk.co.jp